

うしおえ

潮江小学校だより 第2号
令和5年4月11日
文責 藤川 尚司

春爛漫の陽気に包まれ、野山の新緑がずいぶん日差しに映えるようになってきました。日中は初夏の陽気を感じる日もありますが、朝晩はまだ肌寒さを覚えます。季節の変わり目は寒暖の差が大きくなり、体調を崩しがちです。健康管理に気を付けて、新しい学年での生活を楽しみましょう。なお、健康の基本は早寝、早起き、朝ご飯です。規則正しい生活を1年間続けて健康を保ちましょう。

入学式

春の雨が街並みを包んだ4月7日(金)の午後に、入学式を行いました。ピカピカの1年生41名を迎え、255名の潮江小学校名の子どもたちがそろいました。

入学式に出席した新1年生は、実に立派な態度で式に臨んでくれました。私やPTA会長、6年生代表の言葉を椅子に座ってしっかりと聞いていました。潮江小学校の「きぎ方あいうえお」は満点です。慣れない環境に緊張や戸惑いもあったと思いますが、とても落ち着いた子どもたちの姿に感心しました。これから始まる1年生との学校生活がとても楽しみです。

ところで、今回の入学式の準備や当日の係活動では、新6年生が活躍してくれました。1年生の教室の整頓や飾りつけ、入学式での出迎えや案内など、例年のことですが、最上級生としての頑張りには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとう。

あらためて、1年生の皆さんの入学をお祝いするとともに、保護者の方々にお慶びを申し上げます。1年生の入学を心から歓迎し、これから全校みんなで楽しく、明るい生活を送り、うしおえスマイルを咲かせたいと思います。



新年度の初日に

新年度の初日はあいにくの雨でした。新しい出会いの日だけに、明るいお日様の光で子どもたちを迎えたかったなあ…などと思いながら子どもたちを待っていました。強い雨にも負けず、続々と子どもたちが登校してきました。みんな貼り出された学級名簿を見て、「今年は1組や!」「また一緒のクラスやね」などと言いながら、楽しそうに子ども同士言葉を交わしていました。

そんな中、ふと傘立てを見ると、どの傘もちゃんとくるくる巻かれて傘立てに立っています。年度は変わっても、潮江小学校のよき伝統はちゃんと継承されていました。

そして始業式。新学期初めて全校児童が集まりました。廊下の移動中から式が終わるまで、その静粛さは見事なものでした。また、壇上で

話す人をきちんと見て聴く姿勢も実に見事でした。前年度同様の姿で、本校の当たり前前の生活がしっかりと受け継がれていることを感じました。

年度が変わり、生活の環境が変わると、ついつい今までのことがお留守になって、いつの間にか忘れ去ってしまうことはありがちなことです。そのため、伝統を守っていくことは、実はさほど簡単なことではありません。

でも、潮江小学校の子どもたちは、ひとつ学年が上がっても、ちゃんとこれまでと変わらない、当たり前前の姿を示してくれました。ひょっとすると、子どもたちにとっては当たり前すぎて、ことさらに取り上げるほどのことではないと思うかもしれませんが、とっても誇らしくてうれしいことです。

よい習慣は、第二の天性ともいわれます。また、地道に長い時間をかけて身に付けた習慣は、人生や運命を変えると云った人もいます。潮江小学校の子どもたちは、間違いなくよい習慣を受け継ぎ、学んでいます。令和5年度も伝統を守り、より磨いていきたいという思いを強くした初日でした。

マスクの着用について

新型コロナウイルス感染症対策の様々な制限が緩和され、4月から基本的には学校でのマスク着用は不要となりました。そのため、本校でも一律に着用を求めず、それぞれの児童や保護者のご希望や意志を尊重した対応をさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、本校でコロナ感染症流行以前から給食時のマスク着用を励行していました。これは、会食時に各種の感染症が拡大することを予防するためのもので、今後も継続してまいります。そのため、保護者の皆様にはご面倒をおかけしますが、児童が給食時にマスクの着用ができるよう準備にご協力をお願いいたします。また、内科健診については、医療機関との連携上、マスクを着用して実施いたしますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

